

今回は担任の先生方とは連絡ノートでコミュニケーションを取りながら、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、どの児童にも英語って面白い！と思ってもらえるような授業、英語指導を心掛けていらっしゃる田所さんの実践報告です。



田所千鶴さん

J-SHINE 上級資格取得者
八王子市立上柚木小学校 英語講師として10年目
町田市の公立小学の小学校教員英語研修講師

2017年1月号

J-SHINE 通信

■ J-SHINE 資格、上級指導者資格取得のきっかけ

子どもに英語を教えることが大好きで、学生の頃から児童英語に携わり、30余年になります。自宅で教えたり、ヤマハこども英語教室の先生をしたり、横浜教育支援協会『みなみ』で放課後英語教室の開設から学年の枠を超えて教えたりと、場所は様々に変わりましたが、ずっと指導を続けてきました。現在は八王子市立上柚木小学校で3年生から6年生までを教えているほか、町田市の公立小学校3～4校を担当し、年2回、教師の方々に対象に研修をする小学校教員英語研修講師をしています。

アルクで児童英語養成講座を修了した頃に J-SHINE の事を知り、すぐに小学校で教えることができると思い、2004年に資格を取得しましたが、その機会はなかなか得られませんでした。そんな時に横浜の教育支援協会『みなみ』の設立に関わり、吉田博彦氏とお会いし、お話を聞くと、小学校ですぐに英語指導ができるといわれ、放課後教室の英語スタッフとして、しばらく活動していました。しかし当時は小学校英語に対する理解がまだあまり得られず、民間の英語講師が小学校に英語を教えに行くことは難しく、横浜市では機会もかなり少ない状態でしたので、自宅近くの玉川大学の活動に参加し、活動拠点を移しました。初めて正式に小学校で教えたのは、稲城市の公立小学校でした。そこでは3年生～6年生まで英語支援者として英語のみでの授業を1年間担当しました。担任の先生とTT（チームティーチング）での指導でした。翌年からは町田市の公立小学校へ教員の英語研修講師として、活動することになりました。この仕事で八王子市立上柚木小学校長と知り合う機会があり、再び小学校で英語講師として授業をできる事になりました。この頃に規定を満たしていたので上級指導者資格を取得しました。

■ 現在の活動状況

小学校で教えることは大変ですが、とても楽しいです。活発な児童、発言するのが大好きな児童、引っ込み思案で声が小さい児童、様々なことに反発する児童、どの児童にも英語って面白い！好きな教科に入るかも！と思ってもらいたい一心で教えています。忙しくて打合せの時間のない担任の先生方と、休み時間の数分で授業プランを話し、一緒に授業をしていくのはスリリングです。

それでも毎回の授業の流れを同じにすることで、混乱することなく、英語のみでTTで授業を進めることができます。授業の終わった後に連絡ノートを使って、担任の先生方とコミュニケーションをとっています。具体的には、私は授業内容や次のプラン、用意してほしい事、児童の活発に出来たこと等を書き、担任の先生方は感想や要望、教室に戻った児童の様子などを書くというものです。同じ小学校で指導して10年が経つのでコミュニケーションが取れていることも円滑にTTができる理由だと思います。会話中心の授業プランなので、スキットを多用し、ペアやグループで練習し、会話をすることに慣れて、学期末に3行発表（挨拶、名前、挨拶）・4行発表（挨拶、名前、好きなモノ、挨拶）と増やし、年度末には児童一人ひとりが自信を持って、自分のことを5行（学年によって内容は様々）で発表できるようになります。

授業をしていてやりがいを感じるのは、児童がしっかり英語表現を使っているところを目の当たりにした時、おとなしい児童がハッキリと発言できて、笑顔になったのを見た時、自分の教室に戻ってから英会話のスキットを使ってやりとりしていたと担任の先生に聞いた時、駅で困っていた外国の人に話しかけたよと児童から聞いた時などです。本当に嬉しく思います。

年によって教える回数や学年は異なりますが、年度末に小学校から翌年度の依頼をいただき、それを受けて年間の授業プランを立てています。学校側はALTの授業の日程に重ならないように私の日程を組みます。



■ 今後の展望、課題、目標

いま、小学校英語はどんどん変化しています。様々な変化に反対するのではなく、柔軟に受け入れ、上手に対応できるように、ブラッシュアップを心がけたいと思います。いつでも児童の英語の入口にすることを忘れず、英語に触れるすべての児童に、英語って面白い！もっと学びたい！と思ってもらえるような授業を提供できる講師でありたいと思います。

2020年に向けて、お互いに頑張りましょう。